



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場会社名 キムラユニティー株式会社
 コード番号 9368 URL <http://www.kimura-unity.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 幸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小山 幸弘
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日

TEL 052-962-7053
 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,306	6.9	802	41.1	856	13.9	394	12.1
27年3月期第2四半期	21,794	10.6	569	△27.5	751	△26.4	351	△40.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 357百万円 (△41.7%) 27年3月期第2四半期 614百万円 (△65.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	32.65	—
27年3月期第2四半期	29.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年3月期第2四半期	50,944		27,390	50.6			2,135.68	
27年3月期	51,030		26,656	50.5			2,136.52	

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 25,774百万円 27年3月期 25,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	15.00	27.00
28年3月期	—	13.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	47,300	3.3	2,000	31.5	2,200	8.8	1,300	26.2	107.72	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	12,070,000 株	27年3月期	12,070,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,699 株	27年3月期	1,675 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	12,068,311 株	27年3月期2Q	12,068,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調の中、中国株式市場の混乱に端を発した世界同時株安の影響から、為替、株式市場とも不安定な状況が続き、また、海外経済は先進国を中心に緩やかな回復が続いているものの、中国などの新興国経済の減速の影響等もあり、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の中で当社グループにおきましては、国内においては、格納器具製品事業の受注の拡大、北米子会社KIMURA, INC.での物流業務の拡大等により、物流サービス事業を中心に売上高は堅調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、23,306百万円（前年同期比6.9%増収）となりました。

一方、利益面においては、自動車サービス事業のメンテナンス契約における車検費用について、発生時に費用処理をしたことにより、売上原価が大幅に増加しましたが、物流サービス事業での格納器具製品事業での拡販に加え、前期発生した新規事業所の生産準備費用が当期なくなったこと等により、営業利益は802百万円（前年同期比41.1%増益）、経常利益は、前期発生した為替差益の計上はなくなりましたが856百万円（前年同期比13.9%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、394百万円（前年同期比12.1%増益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次の通りであります。

① 物流サービス事業

物流サービス事業は、国内での格納器具製品事業の受注の拡大や北米子会社KIMURA, INC.での物流業務の増収等により、売上高は15,590百万円（前年同期比9.6%増収）となりました。

一方、営業利益は、増収効果に加え、前期発生した新規事業所の生産準備費用が当期なくなったこと等により、1,060百万円（前年同期比71.1%増益）と大幅な増益となりました。

② 自動車サービス事業

自動車サービス事業は、リース契約台数、メンテナンス契約台数の増加等により、7,101百万円（前年同期比1.4%増収）となりました。

一方、営業利益は、メンテナンス契約における車検費用について、発生時に費用処理をしたことにより、売上原価が大幅に増加し、195百万円（前年同期比46.4%減益）となりました。

③ 情報サービス事業

情報サービス事業は、主要顧客を中心に積極的な拡販活動を展開してきたこと等により、受注が増加し、売上高は532百万円（前年同期比7.3%増収）となり、営業利益は、売上高の増収効果等により、49百万円（前年同期比63.5%増益）となりました。

④ 人材サービス事業

人材サービス事業の売上高は250百万円（前年同期比3.0%減収）となり、営業利益は、人材獲得コスト等の増加により、10百万円（前年同期比33.8%減益）となりました。

⑤ その他サービス事業

その他サービス事業は、売電サービスにより、売上高27百万円（前年同期比6.2%減収）となり、営業利益は、11百万円（前年同期比11.8%減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、50,944百万円となり、前連結会計年度末に比較して85百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産が、現金及び預金やリース投資資産の増加により985百万円増加しましたが、固定資産が、投資その他の資産の減少等により1,071百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、23,554百万円となり、前連結会計年度末に比較して819百万円の減少となりました。その主な要因は、買掛金が513百万円減少したこと等によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して733百万円増加の27,390百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.1ポイント上昇の50.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度に比べ638百万円増加し、5,345百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間におきましては51百万円の支出で前年同四半期に比べ100百万円の支出減となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益が155百万円増加し、売上債権の増減額が868百万円の増加、仕入債務の増減額が430百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間におきましては38百万円の支出で前年同四半期に比べ849百万円の支出減となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間におきましては694百万円の収入で前年同四半期に比べ448百万円の収入減となりました。主な要因は長期借入による収入が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年4月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、「企業結合に関する会計基準」第58-2項(4)、「連結財務諸表に関する会計基準」第44-5項(4)及び「事業分離等に関する会計基準」第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ24百万円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が24百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,176,485	5,815,117
受取手形及び売掛金	7,039,080	6,541,797
リース投資資産	8,307,099	9,045,737
商品及び製品	494,709	577,667
仕掛品	34,680	79,589
原材料及び貯蔵品	182,313	279,790
繰延税金資産	251,278	263,551
その他	1,151,867	1,019,632
貸倒引当金	△1,000	△500
流動資産合計	22,636,514	23,622,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,734,612	10,543,225
機械装置及び運搬具(純額)	545,882	522,730
賃貸資産(純額)	283,038	254,269
土地	6,172,409	6,175,376
建設仮勘定	3,595	6,569
その他(純額)	962,100	1,223,617
有形固定資産合計	18,701,639	18,725,787
無形固定資産		
のれん	673,506	634,473
その他	813,017	801,937
無形固定資産合計	1,486,523	1,436,411
投資その他の資産		
投資有価証券	4,753,544	4,446,061
繰延税金資産	272,296	261,838
その他	3,185,050	2,457,266
貸倒引当金	△5,136	△5,136
投資その他の資産合計	8,205,754	7,160,029
固定資産合計	28,393,918	27,322,228
資産合計	51,030,432	50,944,612

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,639,840	1,126,273
短期借入金	1,094,444	1,535,451
1年内返済予定の長期借入金	1,065,684	33,487
未払金	3,265,850	3,129,123
未払費用	1,924,652	1,893,780
未払法人税等	331,776	307,330
賞与引当金	760,478	733,070
役員賞与引当金	20,000	15,000
その他	1,072,410	666,632
流動負債合計	11,175,138	9,440,150
固定負債		
長期借入金	3,032,842	4,033,487
長期未払金	6,792,397	6,735,271
退職給付に係る負債	1,837,891	1,628,737
再評価に係る繰延税金負債	916,558	916,558
その他	619,118	800,071
固定負債合計	13,198,808	14,114,124
負債合計	24,373,946	23,554,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,580,350	3,580,350
資本剰余金	3,420,139	3,444,317
利益剰余金	15,942,869	16,155,915
自己株式	△1,395	△1,423
株主資本合計	22,941,964	23,179,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,306,431	1,134,539
土地再評価差額金	493,299	493,299
為替換算調整勘定	1,250,035	1,132,322
退職給付に係る調整累計額	△207,395	△165,224
その他の包括利益累計額合計	2,842,371	2,594,936
非支配株主持分	872,150	1,616,240
純資産合計	26,656,486	27,390,337
負債純資産合計	51,030,432	50,944,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	21,794,454	23,306,024
売上原価	18,488,277	19,619,156
売上総利益	3,306,177	3,686,868
販売費及び一般管理費	2,737,163	2,884,136
営業利益	569,013	802,732
営業外収益		
受取利息	3,064	3,207
受取配当金	31,279	35,601
持分法による投資利益	134,737	90,291
為替差益	47,195	-
その他	29,140	26,144
営業外収益合計	245,417	155,245
営業外費用		
支払利息	60,460	48,495
和解金	-	37,982
為替差損	-	12,713
その他	2,135	2,087
営業外費用合計	62,596	101,279
経常利益	751,834	856,698
特別利益		
固定資産売却益	2	932
投資有価証券売却益	57,675	-
特別利益合計	57,678	932
特別損失		
固定資産除売却損	116,864	8,422
その他	107	755
特別損失合計	116,972	9,178
税金等調整前四半期純利益	692,540	848,453
法人税、住民税及び事業税	252,419	327,040
法人税等調整額	31,636	51,641
法人税等合計	284,056	378,682
四半期純利益	408,484	469,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,926	75,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	351,557	394,071

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	408,484	469,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,221	△171,892
為替換算調整勘定	25,926	151,986
退職給付に係る調整額	61,187	42,170
持分法適用会社に対する持分相当額	41,516	△134,161
その他の包括利益合計	205,851	△111,896
四半期包括利益	614,336	357,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	532,783	146,636
非支配株主に係る四半期包括利益	81,552	211,237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	692,540	848,453
減価償却費	573,423	648,842
のれん償却額	39,117	39,032
持分法による投資損益(△は益)	△134,737	△90,291
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37	△500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73,507	△29,195
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,000	△5,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△71,880	△147,082
受取利息及び受取配当金	△34,357	△38,824
支払利息	133,014	115,917
為替差損益(△は益)	△69,719	△4,205
有形固定資産売却損益(△は益)	15,167	△76,285
有形固定資産除却損	53,583	8,422
投資有価証券売却損益(△は益)	△57,675	-
売上債権の増減額(△は増加)	△344,348	524,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	△167,893	△222,927
リース投資資産の増減額(△は増加)	△318,912	△159,719
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△191,767	8,240
仕入債務の増減額(△は減少)	57,748	△517,322
その他の流動負債の増減額(△は減少)	27,887	△402,574
長期未払金の増減額(△は減少)	172,557	△57,126
その他の固定負債の増減額(△は減少)	762	△120,692
小計	271,042	321,584
利息及び配当金の受取額	181,303	150,242
利息の支払額	△129,632	△117,151
法人税等の支払額	△474,541	△406,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	△151,827	△51,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,104,631	△134,454
有形固定資産の売却による収入	184,321	96,459
投資有価証券の取得による支出	△760	△774
投資有価証券の売却による収入	71,595	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△38,037	69
貸付金の回収による収入	-	440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△887,512	△38,260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,500,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△2,127,288	△577,440
長期借入れによる収入	2,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,028,004	△1,032,859
リース債務の返済による支出	△33,142	△71,252
自己株式の取得による支出	-	△27
配当金の支払額	△168,853	△181,047
非支配株主からの払込みによる収入	-	557,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,142,710	694,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,537	34,062
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,907	638,631
現金及び現金同等物の期首残高	4,359,978	4,706,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,466,886	5,345,117

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	14,227,149	6,972,779	495,753	69,459	21,765,141	29,312	21,794,454	—	21,794,454
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	500	29,040	—	188,771	218,312	—	218,312	△218,312	—
計	14,227,649	7,001,819	495,753	258,230	21,983,453	29,312	22,012,766	△218,312	21,794,454
セグメント 利益	619,685	365,194	30,358	15,986	1,031,225	12,582	1,043,807	△474,794	569,013

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△474,794千円には、セグメント間取引消去6,491千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△481,285千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	15,590,524	7,078,197	532,076	77,722	23,278,520	27,504	23,306,024	—	23,306,024
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	23,352	—	172,885	196,237	—	196,237	△196,237	—
計	15,590,524	7,101,549	532,076	250,607	23,474,757	27,504	23,502,262	△196,237	23,306,024
セグメント 利益	1,060,344	195,644	49,624	10,578	1,316,192	11,096	1,327,288	△524,556	802,732

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△524,556千円には、セグメント間取引消去3,567千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△528,123千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。